

飯南

いいなん

議会報

第80号
令和7年1月20日

- 2-3 年頭のあいさつ／決算審査報告
12月議会報告
可決した主な議案
令和6年度各会計補正予算
- 4-9 一般質問
- 10 討論／採決の結果
- 11 視察研修報告
- 12-13 常任委員会報告
全員協議会の報告／議会活動報告
- 14-15 特集〈議会をより活性化するために〉
- 16 明日を拓く



年頭のあいさつ

飯南町議会議長 早樋 徹雄



明けましておめでとうございます。
町民の皆様には穏やかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

平素は、議会活動に対しましてご理解とご協力を賜っておりまして厚くお礼を申し上げます。

昨年12月には、飯南病院開設50周年記念式が行われました。病院の充実にこれまでご尽力いただいた招待者の皆様、大勢の関係者の皆様ご出席の中、50年の歩みが紹介され、これまでの苦労話や裏話なども招待者からお話があり、有意義な記念式となりました。医療なくしてこの地域の存続はありません。院長をはじめ、職員の皆様の一層のご活躍を願っております。

早いもので合併から20年が経過し、2月15日には飯南町発足20周年記念式典が挙行されます。頓原町、赤来町の2町合併では規模の面で懸念もされましたが、私はこの2町合併で良かったのではと感じております。「小さな田舎からの生命地域宣言」を基本理念に、小さな町の発展に議員全員で努力をしております。

町民の皆様のご健勝と本年が希望に満ちた年になりますようご祈念申し上げご挨拶いたします。

令和6年

12月定例会を終えて

12月10日から20日まで開催

一般会計補正予算は、2億8310万円余の増額。低所得者対策支援金、物価高騰対策として全住民にいくにゃんPay8000ポイント(8000円分)を付与することが盛り込まれた。また、介護報酬改定により経営が厳しくなった訪問介護事業に対し支援金を計上し、来島地区に建設する滞在型地域交流拠点施設新築工事の請負契約を議決した。
令和5年度決算の認定、議会活性化特別委員会に付託した事案の委員長報告があった。

可決した主な議案

認定

令和5年度飯南町一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び各公営企業会計決算の認定

条例関係

飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定など6件

予算

令和6年度飯南町一般会計補正予算(第5号)など11件

諸議案

令和6年度飯南町滞在型地域交流拠点施設新築工事請負契約の締結について

決算審査報告

決算審査特別委員会
委員長 景山 登美男

審査の対象

- 令和5年度飯南町一般会計歳入歳出決算書
- 令和5年度飯南町国民健康保険事業外2件の特別会計歳入歳出決算書
- 令和5年度飯南町病院事業会計、飯南町簡易水道事業会計、飯南町下水道事業会計各決算書

審査意見

前年に比べ財政規模は大きくなった。

地方交付税、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金、強い農業・担い手づくり総合支援交付金が増額となり歳入が増額した。電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業、乳用牛生産振興事業(来島牧場)などにより歳出が増加した。

財政指標の状況は、経常収支比率が97.6%で前年度より0.9ポイント増加、地方債現在高比率が22.5.8%で前年度より8.4ポイント減少している。

財政健全化法に定める指標のうち、実質公債費比率は9.7%、将来負担比率は26.7%といずれも早期健全化基準を下回ってはいるが、今後も限られた財源のもとで、的確な予算編成、効率的かつ効果的な予算執行に努め、引き続き財政の健全化に努力されたい。

町債について

令和5年度末の町債残高は98億8千7百万円であるが、繰上償還を実施したこと、町債発行額を抑制したことにより、前年度末に比べ3億9千8百万円減少した。

今後も繰上償還を適切な規模で継続し、計画的な事業執行に努められたい。

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業について

脱炭素社会の実現には、町民・事業者・行政が一体となつて取り組むことが必要である。住民が無理なく参加する取り組みを求める。

配食サービス事業について

食生活の改善と健康増進を図るとともに、高齢者の見守りを目的として実施しているが、ボランティアの高齢化や人員不足のため、限界を超えているとの報告があった。

一方、利用者からはサービスの充実を求められていることから、改善策を検討されたい。

木質・バイオマス推進事業について

耕畜連携の取り組みにより地域循環型農業を推進するため、町内産材のおが粉は欠かすことができない。森林組合との協議により、生産効率の改善を図るとともに、支援策も検討されたい。

令和6年度 各会計補正予算

一般会計は2億8310万円増額に

6～11月の大雨災害に伴う災害復旧費8851万円の増額、訪問介護事業継続支援の補助金新設による299万円の増額、中学校教育指導書購入のため503万円の増額、頓原小学校校舎改修のため471万円の増額、給与改定による人件費3115万円の増額など

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		2億8310万円	88億 6166万円
特別会計	国民健康保険事業	382万円	6億4712万円
	後期高齢者医療事業	187万円	1億8702万円
	介護保険サービス事業	130万円	3996万円
病院事業会計		2619万円	14億5340万円
簡易水道事業会計		165万円	4億1960万円
下水道事業会計		446万円	5億8416万円

一般 質問

令和6年 12月定例会

観光宿泊施設再編は疑問

安部 誠也 議員



Q ホテル建設見直せ
観光宿泊施設の再編に関わる住民説明会が町内2会場で開催された。赤名会場では旧赤来町・赤名がダメになると、26人全員反対だったと聞いている。
町民からは「観光施設と地域交流施設の違いを執行部が理解していない。衣掛荘は昭和天皇・皇后両陛下が全国植樹祭の折、立ち寄られた地域の誇りで愛された施設。単なる観光施設ではない。地域に必要な宿泊施設だ。地域の拠点としての役割は大きい」と聞いた。

新たな宿泊施設の懸念は、気候と財源だ。気象状況からして、スキー場はいつまで持つかわからない。将来的な地方財政を考えた上でも、多額な投資をしても回収はとも無理。スキー場と新設するホテルの継続は不可能と考える。

概算工事費11億円など巨額の投資で100人以上宿泊する施設だが、空き室が増



憩いの郷 衣掛

えれば赤字が続く、指定管理料が上がる。町が進めるコンパクトシティを目指す意味でも、施設が点在することは避けるべきである。
町民に目を向け、住民の声を十分に聞くべき。一時のスキー客目当てではなく、今ある建物を有効に使うべきだ。

今後は、特別養護老人ホームの新設など、事業が山積みだ。町民のためよりも町外から来る人のためにお金を使うなんて考えられない。

A 総合的に判断

町長塚原隆昭

稼働率の低い宿泊機能を集約する。老朽化が進んだ「琴引ビレッジ山荘」は解体し、周辺にレストラン機能を有し宴会もできる「新たな宿泊施設」を建設する案を示した。

赤来会場では「憩いの郷衣掛」の機能縮小に多くの反対意見が出たことも承知しているが、事前に内部で十分に協議を重ね、私の考えも反映された形で提案した。



琴引ビレッジ山荘

そのほか、広島広域都市圏と広島への戦略について質問がありました。

水道水の安全はどうか

内藤 眞一 議員



Q PFASの調査結果と今後の対応は

水道水へのPFAS（フッ素化合物）混入の調査結果はどうだったか。

調査・検査にはそれなりの費用も必要だが、町民の安全のため、指示があれば遅滞なく検査し結果を公表してもらいたい。今後の町の取り組みについて伺う。



杉戸浄水場

A 安心安全確認できた

町長塚原隆昭

有機フッ素化合物PFASの水道水調査を9月から11月にかけて、町内14か所全ての浄水場の原水を検査した。

全ての浄水場において、国が示している暫定目標値を大きく下回り、安心安全な水道水であることが確認できた。この結果は、毎月実施している水質検査結果とともに、町のホームページで公表した。

PFASは自然界から混入する物質ではないことから、新たな工場の設置等の環境変化がなければ検査はない。

毎月実施している通常の水質検査により、引き続き結果の公表を行いながら、安心して利用できる水道水の供給に努めたい。

Q 町民の声に耳を傾けて

「観光宿泊施設」「小学校のあり方」「道の駅頼原周辺整備」等、地域住民に十分説明せず尻に火がついてからの説明で、それまで何の説明もなく提示したのでは、住民の怒りは当然だ。

議員は、住民の皆様説明できるほどの情報をいつも聞いているわけではないから、予定段階の話を住民に話すことはできない。

もつと町民に目を向け、町民の意見に耳を傾けるように改善すべきと思うがどうか。

A これまでと同様に

町長塚原隆昭

町民全体への説明は、まずは、町民の代表である議会に説明し、その中でいただいた意見も踏まえ、ある程度方向性が定まった時点で住民説明会を開催している。

職員は町民の皆様や事業



住民説明会(赤名会場)

者の方の声を聴いて情報収集し、よりよい形となるようアイデアを出し合って事業を進めていると認識しており、決して町民目線ではないとは思ってない。
これまで同様に町民との対話を大切にし、よりよい事業となるよう事務執行に努める。

自然にはもちろん勝てない。判断するときも出てこようと思うが、今のところは国民スポーツ大会に向けて環境整備し、今後も継続という方針は変わらない。
施設建設の財源の確保はもちろんだが、既存の施設の改修や更新など維持管理にかかる多額の費用も十分に勘案し、議会や住民の意見にしっかりと耳を傾け、総合的に判断したい。



防災行政無線の活用を

景山 登美男 議員

一般 質問

令和6年 12月定例会

情報提供で共通認識を

高橋 英次 議員



Q 町内保育所の状況は

現在町内には赤名・来島・頓原・志々と4か所で保育所が開設され、9月末時点では119名の園児数だ。
④ 保育所施設について、今までに耐震診断を行ったことはあるのか。
③ 現在の保育士の人数と、現行人員での保育状況は。
② 今年度の育了見込みの園児数と、来年の入所見込み数は。
① 保育目標、保育士の勤務環境等、施設全体に関する方針計画はあるのか。

A 「飯南町公共施設等総合管理計画」で

町長塚原隆昭

① これまで耐震診断を行ったことはなく、赤名保育所・桜ヶ台保育所は「鉄筋コンクリート造」、来島保育所・さつき保育所は「鉄骨造」で耐久性が見込まれ、適切な維持管理を継続。



赤名保育所

② 正職員25名、臨時職員25名。
③ 13名が育了を迎え、入所見込みは、最大で26名。
④ 「恵まれた自然環境、そして温かい人間関係の中で豊かな人間性のある子どもを育成する」を町の保育理念に、社会福祉協議会では「心豊かに、たくましく生きる子どもを育む」との方針がある。
施設については「飯南町公共施設等総合管理計画」の中で定めてあるが、より良い保育のあり方は、常に研究していく。

Q 旧赤名駅舎車庫の安全性は

旧国鉄バス赤名駅舎車庫があり、現在生活路線バスと備北交通バスが利用している。
この車庫は7月の半夏まつり催し物開催場所としても使用され、赤名自治振興会「スノーヘルパー」が、ボランティア活動として除雪作業を行う除雪道具一式も格納されている。



旧JRバス赤名駅舎車庫

登校路にも面するこの建物の安全性は、現在どの程度の段階と認識するか。

A 安全は保障されていない

町長塚原隆昭

昭和9年建設で大変古く、建物検査もしておらず、安全性が保障された建物ではない。
事務所部分は鉄筋コンクリート造で、すぐ倒壊する状態ではないと認識。

Q 情報提供をもっと

小学校耐震結果の住民説明会で、住民の方は唐突な発言だと発言されていたが、前段での説明が不十分であったのではないかとと思われる。

情報提供により、飯南町の変化の具合を町内全域で共有、認識し、わかりやすい行政を行うべきでは。

A 適正に公表する

町長塚原隆昭

段階毎に情報はきちんとお伝えし、理解を得て物事を進める。

Q 災害時の透析医療の確保を

町内の透析患者は、町内に透析を受けることができる医療機関がないため、雲南市や三次市などへ個別に通うか、町の送迎車で通院している。

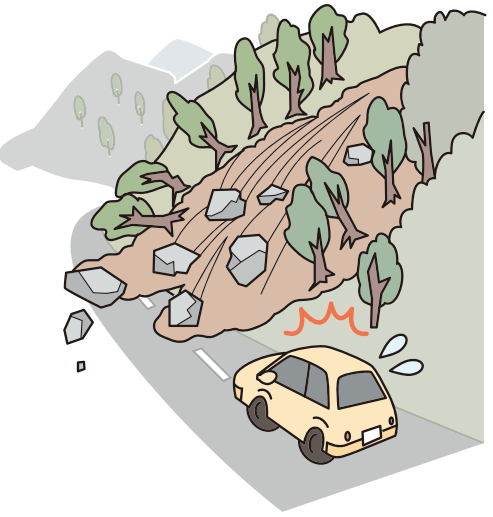
A 体制づくりを進めたい

町長塚原隆昭

平時から搬送ルートや搬送手段を含めた検討を行っておくことは必要だ。

福祉事務所では、自分で通院できない方の搬送支援を行っている運転手の会議を定期的に実施し、冬季や出水期には時間を変更したり、災害の危険性が低いルートでの送迎を行ったりしている。

今後も、県や雲南保健所と連携しながら、しっかりと体制づくりを進めたい。



Q 二つの放送施設柔軟な活用を

音声告知放送は、行政機関等からの各種業務の案内、行事予定、おみやみなどのお知らせやグループ放送として、小・中学校、公民館及び自治区長、自治会長、組長、また登録されている団体から区域内への放送が可能である。

一方、防災行政無線では、屋外スピーカーにより、火災、災害情報の伝達をはじめ、気象警報や災害発生時の避難勧告、全国瞬時警報システム（Jアラート）との連携による緊急地震速報や武力攻撃事態等が発生したときの警報などが伝達される。また定時のチャイムも鳴っている。

クマの出没情報や音声告知放送設備のトラブルなど、現在音声告知放送で放送しているもので、屋外スピーカーを使った方が効果的である場合には、防災行政無線で放送できるような柔軟な活用を検討してはどうか。



防災行政無線の放送室

A 柔軟に対応したい

町長塚原隆昭

熊の出没情報を防災行政無線で周知することは、屋外の方への情報伝達手段として非常に有効なので、防災行政無線の活用に向けて、操作方法の研修を行いながら進めたい。

告知放送設備のトラブルなど、防災行政無線での放送が有効と思われる内容については、その活用を考え、柔軟に対応したい。



このまちの農業どうする

平石 玲児 議員



下赤名地区ほ場

Q 地域計画の進展状況は？

地域計画は、従来の「人・農地プラン」から「農業経営基盤の強化に関する計画」に移行し、持続可能な農業生産を実現するための重要な枠組みとなっている。

この計画は、土地、資金、技術、市場アクセス、人材を整備し、地域農業を支える政策支援が求められ、実施状況が地域経済や住民生活に与える影響は大きいと考える。具体的な進展状況について伺う。

A 3月末策定予定

町長 塚原隆昭

8月から10月にかけて各地区で説明会を開催。11月末までに57地区中33地区から計画案が提出された。

案を農地図に落とし込み、1月末までに再確認後、農業委員会への報告や公告を行い、3月末までに策定予定。

Q 農林業振興計画の成果は？

農業経営基盤の強化に関する重要施策やプロジェクトの達成度と、農業技術導入や新規就業者支援、地域特産物ブランド化、農地集約化など具体的成果はどうか。

各施策の進捗状況や実施率の数値は。

この計画が農業経営者や地域住民にどのような影響を与えているか具体例や競争力向上や所得改善について伺う。

A 成果は出ている

町長 塚原隆昭

水稲やパプリカのブランド化、リースハウス事業による新規就農者支援を進めている。これらの施策は農業所得向上や地域活性化につながっている。

また、和牛繁殖基盤強化による経営支援も出荷頭数増加及び販売額向上につながった。

進捗状況(主なもの)

施策・分野	指 標	現在の数値	計画目標
水 稲	エコロジー米作付比率	64.4% (みどり認定申請分)	80%
特産振興	リースハウス整備棟数	59棟	60棟
畜産振興	繁殖雌牛の頭数	229頭	215頭

そのほか、災害時の情報伝達要領、高齢化に伴う労働力不足に対する施策、デジタル化推進での高齢者等への対策、J・クレジット制度について質問がありました。

一般 質問

令和6年 12月定例会

防災施設の整備・点検を

安部 丘 議員



Q 避難所のバリアフリー推進を

避難施設の冷暖房は、宝くじコミュニティ助成金を活用した導入が近年進んでいる。未設置の施設には、町が積極的に導入事例を紹介し、設置を促進されたい。

高齢化が進む中、バリアフリー設備の設置も必要だ。手すりや玄関スロープ、トイレの洋式化、手押し車やシニアカーで避難する人の容易性を確保する進入歩道の舗装など、避難所の状況に応じた多様な対応が望まれる。

避難所となる自治集会所の整備は「飯南町自治集会所建設事業助成金」が設けられてはいるが、補助率が低い上に一度しか使えない制度のため、維持・改修の殆どは住民が負担しあっている状況だ。

町独自の「集会所整備の助成」と、地方創生交付金を活用した「避難所環境改善の助成」の両方を視野に見直してはどうか。



自治集会所(杉戸生活改善センター)

A 優先順位をつけ取り組む

町長 塚原隆昭

まずは、施設内の環境整備を優先し、次に外構を考えていく。国の補正予算2千億円の情報も届いており、条件など研究し避難所環境の改善を推進していく。

Q 消火栓の通水確認を

住宅火災のニュースが増え、多くが全焼だ。

町が設置した防火水槽100カ所と消火栓179カ所は、昨年に全ての施設を目視点検されたが、消火栓の通水確認は長年実施されていない。

防災訓練時に消防団の協力を得て数カ所でも通水確認ができる、住民が状況を把握でき安心感につながると思うがどうか。

A 消防団と協議・検討

町長 塚原隆昭

消火栓の通水確認は非常に重要な項目だが、濁水や錆混入の恐れがあるし、水圧の変化によるトラブルも心配される。消防団とも協議し、数カ所でも通水確認できるように検討する。



Q 原子力災害時避難地の在り方

島根原発2号機が再稼働した。

有事に本町は、松江市大野町から最大1300人余りの避難者を受け入れる計画だ。

これを機に、本町の観光や体験型交流会など企画し、住民間の関係を築く土壌を整備してはどうか。原発再稼働元年に本町から働きかけでは。

A 公民館を通じ案内する

町長 塚原隆昭

これまで避難訓練以外での交流はない。相互の公民館を通し、フラワイイベントの案内や観光情報のお届けなど、本町と大野地区との関係づくりを少しずつ進める。

議案第73号 飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 伊藤 好晴 議員

物価高騰が続く中、町民生活は厳しい状況に置かれている人が多く、本町経済や町民生活の状況を見たときに、議員・特別職の期末手当を上げることが望ましくない。

賛成討論 熊谷兼樹 議員

これまでは、多くの町民が置かれている経済状況を勘案し反対してきた。この度は、議会活性化検討特別委員会による住民説明会での意見を踏まえ賛成する。

議案第74号 飯南町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 伊藤 好晴 議員

物価高騰が続く中、町民生活は厳しい状況に置かれている人が多く、本町経済や町民生活の状況を見たときに、議員・特別職の期末手当を上げることが望ましくない。

賛成討論 安部丘 議員

適正な物価上昇とそれを上回る賃上げは、国力を高めるための国策であり、特別職の給与についても賛成する。重要なのは賃上げを隔々の事業者まで行き渡らせるための施策だ。

議案第77号 令和6年度飯南町滞在型地域交流拠点施設新築工事請負契約の締結について

反対討論 戸谷ひとみ 議員

さまざまな情報を精査し、住民の理解とアイデアをいただきながら、効果的なお金の使い方を今一度検討する必要があると考える。予算を執行することに疑義が生じたため反対。

賛成討論 景山登美男 議員

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、適正な入札手続きを経て行われた請負契約であることから、可決すべきである。

賛成討論 安部丘 議員

全議員が賛成し採択した予算を法・条例に則り適正に事務執行したもので、賛成する。事業効果を最大限発揮されるよう運用されたい。

議案第78号 令和6年度飯南町一般会計補正予算（第6号）

賛成討論 伊藤 好晴 議員

議員・特別職の報酬・給与引き上げが反映される令和6年度飯南町一般会計補正予算（第6号）についても反対すべきだが、本予算案には職員・会計年度任用職員の給与引き上げが盛り込まれており、賛成しなければならない。

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	戸谷ひとみ	平石玲児	安部丘	景山登美男	安部誠也	高橋英次	内藤眞一	熊谷兼樹	伊藤好晴
令和5年度飯南町一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び各公営企業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
飯南町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●
飯南町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町滞在型地域交流拠点施設新築工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時会(10月15日開催)】

令和6年度専決処分の承認(令和6年度飯南町一般会計補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度頓原農村環境改善センター改修工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度頓原農村環境改善センター非常用発電機設置及び空調改修工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

視察研修報告

2024年11月13日～14日

高齢者福祉を

全議員が研修

令和6年11月13日(水)
衆議院第二議員会館(東京・永田町)



全議員研修

厚生労働省老健局高齢者支援課の課長より介護サービスについて国の方針等の説明を受けました。

具体的には、基本報酬の見直しによる介護職員の処遇改善、介護分野におけるテクノロジー活用例、デジタル行財政改革の方向性およびケアプランデータ連携システムの稼働などが取り上げられました。

しかしながら、国と地方との考

え方の乖離、とりわけ中山間地域や過疎地域では十分なサービス提供がなされていないと感じています。この状況は、制度全体として持続可能性と公平性を損ねる要因となります。解決には国・地方双方がお互いの状況を理解し合い協力して取り組む必要があります。

教育経済常任委員会

令和6年11月14日(木)
神奈川県小田原市

多様な森林活用に取り組み、新しい森林経営を行う(株)T-FOR E S T R Yを視察し、樹上での冒



教育経済常任委員会の視察研修

険を楽しむフォレストアドベンチャー、森林内をマウンテンバイクで走行するフォレストバイク、林業等の資産経営などの話を聞きました。

特に関心を持ったのは、狩猟に興味がある市内外に住む人と狩猟場所をつなげたり、捕獲や解体、美味しく食べるところまでをプロから学べる「ハンターバンク」というサービスで、ライバルの少ない小規模な市場を狙う経営手腕を学ぶ貴重な機会でした。

総務厚生常任委員会

令和6年11月14日(木)
石川県川北町

川北町は、加賀平野のほぼ中央に位置し、手取川の右岸に沿った東西に細長い町です。

積極的な企業誘致活動により企業からの税収入が増加したため、公共料金の低廉化や他市町に先駆けて取り入れてきた手厚い福祉施策、子育て支援策など町独自の施策が呼び水となり、町の人口は、町制施行時の4339人から現在は約6300人と飛躍的に増加し



総務厚生常任委員会の視察研修

ました。
平成の合併にも参加せず単独町政を継続する一方で、消防、病院、ごみ処理などは広域行政で運営されています。

また、19戸の新興住宅団地(現在415戸)の宅地造成や、若者の定住化のために町営住宅を38戸(現在120戸)建設するなど、今も活気に満ち溢れている町でした。

人口減少になかなか歯止めがからない本町ですが、次世代が本町での幸せを感じられる持続可能な地域を作るため、町民、地域、団体、企業、行政など町全体で地域課題を解決していく必要を感じました。

教育経済常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：戸谷ひとみ
委員：伊藤好晴 内藤眞一 平石玲児

常任委員会 報告

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部誠也
委員：早樋徹雄 高橋英次 安部 丘

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第5号)

農業振興臨時管理費 313万円

令和元年度、県の補助事業「企業等の農業参入支援事業」を受け、県外から本町に進出し法人を設立した事業者が今年度撤退するため、県に補助金を返還する。
リースハウスのリース料の支払い状況について質疑があり、据え置き期間を設けず本年度分まで納付済みであるとの回答があった。

みどり認定推進事業 400万円

みどり認定申請件数が、当初の予定を上回り予算オーバーしたため支援金を増額する。
生産者のメリットがなければ一時的な取り組みになるのではないかと。収益増には、販路戦略が重要ではないかと等の意見があった。
担当課からは、今年は差別化して売り込んでいた米の確保に苦勞している。本町で生産される米をブランド米として消費者に認知していただくには、安全性、安定生産、安定供給はかせない要件だ。みどり認定により安全性の確保を図るとの回答があった。

※みどり認定とは、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム法」に基づいて、環境負荷低減に向けた農業者や地域の取り組みを支援・促進するための認定制度。

小学校共通臨時管理費 471万円

志々小学校の耐震診断の結果報告を受け、安全な教育環境を確保するため、頓原小学校内に代替教室を設置するための改修工事費。
保護者・教職員による現地確認で、現在の案に不安が出ているようだ。どのように対応するのかとの質疑があった。
教育委員会からは、意見を重く受け止めている。安心していただくため、引き続き保護者・学校関係者と協議を行うとの回答があった。



代替教室予定場所を視察（頓原小学校2階）

条 例 飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

川東住宅3号を追加。

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第5号)

【歳出】 定住促進対策事業 200万円

住宅新增改築資金の借入金利子額の一部を助成する制度の利用者が増加したことによるものが100万円。
事業者が従業員用住宅を整備した場合、整備費用の一部を助成する制度の利用者が増加したことによるものが100万円。



定住促進住宅を視察

高齢者生活福祉センター臨時管理費 50万円

食事搬入口シャッター故障に伴う修繕費。

訪問介護事業支援補助金 299万円

訪問介護事業継続支援のための補助金
飯南町社会福祉協議会が行っている町内唯一の訪問介護事業は、平成28年度の介護保険制度改正以降収支が悪化し、赤字が拡大している。
さらに、令和6年4月の介護報酬改定による介護報酬の引き下げにより、更なる収支悪化が見込まれている。
町内唯一の訪問介護事業継続のため財政支援を行うもので、補助金額は本事業の前年度の収支差額(赤字)相当額となっている。
委員会としては、令和6年4月の介護報酬改定では中山間地域等でのサービス提供などを適切に評価する観点から、特定事業所加算の区分や要件が見直されていることなどについて調査・研究することを求めた。

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第6号)

【歳出】 低所得者支援事業 2351万円

個人住民税非課税世帯への給付金
1世帯3万円 こども1人加算2万円

議会活動報告 [10月～12月]

10 1日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
2日 議会活性化検討特別委員会
4日 雲南地域スポーツ交流会（飯南町）
5日 島根県種畜共進会（松江市宍道町）
7日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
8日 決算審査特別委員会
総務厚生常任委員会
9日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
10日 議会運営委員会（10月臨時会の提出議案、日程ほかの協議）
議会活性化検討特別委員会
11日 島根県町村議会議長会全議員研修会（松江市）
15日 臨時議会
議会活性化検討特別委員会
17日 議会活性化検討特別委員会
21日 決算審査特別委員会
22日 決算審査特別委員会
25日 島根県中央子牛共進会（松江市宍道町）
29日 雲南市・飯南町事務組合議会定例会（雲南市）
31日 決算審査特別委員会

11 5日 決算審査特別委員会
6日 決算審査特別委員会
議会活性化検討特別委員会住民説明会（赤名）
12日 全国議長大会・議長研修会（東京）
13～14日 全議員行政視察（東京ほか）
18日 議会活性化検討特別委員会住民説明会（頓原）
19日 決算審査特別委員会
20日 決算審査特別委員会
議会活性化検討特別委員会住民説明会（谷）
21日 決算審査特別委員会
22日 教育経済常任委員会
25日 決算審査特別委員会
26日 決算審査特別委員会
27日 全員協議会
議会活性化検討特別委員会住民説明会（来島）
28日 決算審査特別委員会
議会活性化検討特別委員会住民説明会（志々）

12 3日 議会活性化検討特別委員会
5日 議会運営委員会
（12月定例会の提出議案、日程ほかの協議）
議会活性化検討特別委員会
6日 飯南病院50周年記念式典
10日 12月定例会：本会議（町長提出議案の説明、質疑、委員会付託）
13日 ：本会議（一般質問）
16～19日 ：委員会審査
19日 ：議会運営委員会（追加提出議案、日程ほかの協議）
19日 ：委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
20日 12月定例会：本会議（委員長報告、討論、採決）
23日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
24日 雲南広域連合議会定例会（雲南市）
雲南市・飯南町事務組合議会臨時会（雲南市）
25日 議会広報編集委員会（議会広報紙編集作業）

全員協議会の報告

令和6年10月15日(火)
①滞在型地域交流拠点施設
②庄原市・飯南町自治体間交流に関する連携協定締結式
③第3次飯南町総合振興計画・第3期飯南町総合戦略(案)
④い〜にゃんPAYキャンペーン実施(第2弾)
令和6年11月27日(水)
①志々小学校耐震診断の結果の報告と今後の対応
②11月2日の大雨による災害の発生
③観光宿泊施設の再編に係る住民説明会の報告
令和6年12月19日(木)
①給与の改定
②飯南町滞在型地域交流拠点施設新築工事
③飯南町生活応援ポイント事業
④低所得者に対する支援金の給付
⑤介護事業統合協議会の協議状況
⑥第2次飯南町健康(まめ)ごころ推進計画
⑦第3期飯南町子ども・子育て支援事業計画
⑧第3次飯南町総合振興計画・第3期飯南町総合戦略(案)

特集 議会をより活性化するために

議会活性化検討特別委員会

審査報告

委員長 高橋 英次

次期飯南町議会議員選挙(令和7年7月施行)に向け、多様な人達が立候補できる環境を整えるため、特別委員会を設置し検討を行いました。

【検討期間】

令和6年7月31日、委員9名による議会活性化検討特別委員会を設置

令和6年8月29日から12月5日の間、8回の委員会を開催

【検討項目】

議員報酬・議員定数・政務活動費・デジタル化

【検討結果(案)】

議員報酬 月額242,000円
議員定数 10人
政務活動費 年間120,000円
デジタル化 令和6年度中に議会でのデジタル化会議録公開は議会ホームページで実施中

【検討結果の導入時期】

議員報酬・政務活動費については令和7年8月から(次期改選後)、デジタル化は令和6年度中に始めます。

【住民説明会と有識者の意見聴取】

住民説明会は11月に5会場で実施しました。アンケート等を含め反対の意見はなく、検討結果はご理解いただけたと判断しました。

有識者の意見聴取については、飯南町特別職報酬等審議会での審議を依頼します。

12月議会において特別委員会設置期間が令和7年3月末まで延長され、政務活動費の内容の精査などを行います。

議会活性化住民説明会報告

議会活性化住民説明会でいただいたご意見の一部をご紹介します。質問への回答は後日ホームページに掲載します。

定数について

- 10人では議員一人に対し町民450人の声を聞ける計算になる。11人になれば約400人となり、もっと町民の声が届くのではないかと感じた。

参加された方々の感想



きょうこう 本多 経宏さん

増税や物価高騰で景気低迷が続きますが、議員活動の活性化により、新たな方向性を見出し、町民と共に暮らしの安定を期待しております。



ひろひと 前田 弘人さん

報酬引上げの説明会ができるなら、議員主催の町政報告会を頻繁に開催するべきだと思った。

本人の希望により不掲載

報酬について

- 報酬を上げることに賛成。十分に活動して町民に還元してほしい。
- 子育てしている人や若い人が立候補しやすいように、そちらを増額する報酬体系にした方がよい。
- この計算式で出た金額ではまだ低いかな。

政務活動費について

- 政務活動費は正々堂々とお金なので必要。

その他

- 小学校の議会訪問や中高生との意見交換会などで議員と知り合いになれば、子どもたちも町のことに興味を持ちたいと思えるようになるのでは。
- 若い人たちがもっと参加してくれたらよかった。説明会だけではなく対話するような会を続けてもらいたい。
- 議員のなり手不足(地元愛がないのでは…)は全国的な問題。このような会は大変有意義でした。

参加された方々の感想



げん 清水 元さん

議員さんの個々の想いを聞くことができました。議会は行政と対等ですので、忖度なしでチェック機能を果たして欲しいと思います。



こうちょう 熊谷 高暢さん

二元代表制による飯南町の未来は、町長の執行手腕はもとより、住民の代表である議員が責任をもって質の高い活動が行えるよう環境を整える必要性を感じました。



よし み 明見 愛美さん

議員さんとの意見交換や座談会のようなもので、住民の思いを身近な議員さんに伝えることができたらいいなと思いました。



ゆる〜く、なが〜く続けたい

志々未来会議実行委員会

会長 高岡 晃 さん
たかおか あきら

事務局 小野田知子さん
おの だともこ

30〜40代の数人が発起人となり、地域と子どもたちの未来を主体的に考えるために発足（2019年）。「志々ハロウィンさんぽ」や「志々イルミ」は定番のイベントになっています。

まずは自分たちが楽しむ

新型コロナウイルスで活動が縮小しましたが、できる範囲でみなで模索しながら活動を続けました。「できることを無理ないようにやる」「協力できる範囲でやつてもらおう」ということを大切にしています。



役員・スタッフも楽しく!を大切に

周りを巻き込み、巻き込まれる

「このメンバーでがんばろう!」ではなく「地域のひとと一緒に作っていきましょう」がコンセプト。役員ばかりが動いても続けることが難しくなりますからね。大人と子どもを区別せず、みなで楽しんでいきます。

地区外の中高校生からも、一緒にイベントをしたいという声がかかり、つながりができ始めました。新しく住宅に入った人も、自分たちのイベントをきっかけに地域のひとと交流しています。

これからの私たちの役割

子どもが大きくなると、子育て世代の移住者と知り合う機会が少なくなります。いろいろな年代とも繋がるのは自分たちなのかなと、新たな役割を感じています。

私たちも移住者で、来た時は地域の方が気にかけてくれ、たくさんお世話してもらいました。アットホームで人とのつながりがあることがとてもありがたかったです。その時の恩返しだと思って、その役割を徐々にしていけたらなと思っています。

志々を元氣な地域のまま存続させたい。さつき会館とそこで働く人を中心につながり



飯南高校美術クラブも一緒に盛り上げました



手拍子をする地域のみなさん

つくってあげれば、いろんなことができるんじゃないかと思えます。帰って来いとは言わないけれど、親が楽しく暮らしていれば子どもたちもその気になるかもしれません。最近、若い人が帰ってきているし、暗い話ばかりではありません。

これからも楽しくつながっていたい。志々全体、さらには飯南町全体で...

今月の表紙写真



12月7日(土)恒例の「志々イルミ」点灯式が、さつき会館横の志々未来ひろばで行われた。灯りがつくと一斉に歓声が上がリ、寒さを忘れ幻想的な光景を楽しむ姿があちこちにあった。豚汁やおにぎりなどが振る舞われ、中学校吹奏楽部による演奏も行われた夢あふれる点灯式だった。

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長:戸谷 ひとみ 副委員長:平石 玲児 委員:伊藤 好晴 高橋 英次 安部 誠也 安部 丘

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867